

国立大学法人鳥取大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和7年9月26日（金）12:55～14:55 鳥取大学医学部総合教育棟1階多目的会議室	
委 員	委員長 玉井 孝幸（高等専門学校教授） 委 員 田中 康裕（税理士） 委 員 柿原 正樹（銀行経営統括部調査役）	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
抽出案件（合計）	5件	（備考） 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
工事（小計）	4件	
一般競争 （政府調達協定対象工事）	0件	
一般競争 （上記工事を除く）	3件	
工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	1件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

別 紙

1. 令和6年度工事等請負契約に関する入札及び契約手続きの運用状況等について ・見積合わせは例えば3社に声をかけて、3社一斉に見積書を徴取した結果1社に決まったのか、1社ずつ声をかけたが断られて3社目で決定したのかどちらですか。 2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について (1) 鳥取大学（米子）保健学棟防水改修工事 ・応札した業者の参加資格は何か。 ・競争参加資格をC等級まで広げたが、C等級の業者は応札してこなかったということか。 入札者が少ない場合、業者に対して働きかけはしないのか。 ・1社しか応札してこなかった理由は何か。 この工事の発注は7月という状況だが、その時点でもう受け手がないという状況なのか。 ・参加条件をもう少し緩和しようという考えはないのか。	見積合わせは3社に順番に声をかけていて、3社一斉に見積書を徴取した結果1社に決定した。 ・B等級である。 ・Cの業者は応札してきていない。働きかけはしている。 ・人手不足により、技術者を配置できないという理由が大半である。 ・官公庁とかは夏くらいからの発注が多いが民間工事は官公庁と比べて早期に発注しているところもあるので、その辺のタイミングがうまくいかなかったと考える。 ・参加条件は鳥取県だけでなく中国地区全体まで広げているので、今できる最大限のことはやっている。
---	--

(2) 鳥取大学（三浦）工学部C棟E棟等空調設備改修工事 ・空調機はこのメーカーでこの仕様でというのはあらかじめ指定しているのか。 ・予定価格に問題は無いのか。 ・低入札になっている原因は機器の金額によるものか。 (3) 鳥取大学（米子）総合研究棟空調設備改修工事（Ⅲ期） ・当初 3 社が応札する予定であったが、2 社辞退した。辞退した理由は何か。	・メーカーまでは指定していないが、参考の型番を記入している。 ・国の基準に基づき積算しているので、特に問題ないと考えている。 また、見積査定率についても鳥取大学独自で過去 3 年間の実績で算出しており、中国・四国ブロック内で参考の見積査定率があるが、その査定率より低い設定となっている。これ以上に査定率を引きしめることは難しいと考えている。 ・他に諸経費も大きく差がある。大学の諸経費の算出方法は直接工事費に対して率を掛けて算出するが、業者は必要なもの、必要でないものを取捨選択して積み上げていることから金額に大きな差が生じている。また、学内で何件もすでに工事を受注しており、経費的なところも共用できるため、経費を安価にできているところもある。 ・1 社しか確認できていないが、他の工事入札に登録しており、そちらを落札したため、辞退となっている。
---	--

・落札価格が予定価格に近すぎていると思うがその理由は何か。	・最終的に応札したのは1社であった。2回入札を行ったが、2回目の入札においても落札できなかったことから不落随意契約となったためである。
(4) 鳥取大学（医病）病棟防災センター非常放送設備改修工事 ・競争資格において、平成21年以降に元請けとして完成・引き渡しが完了した鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造で教育文化施設、福祉施設又は行政施設の新営又は改修工事における消防施設工事の施工実績を有すること。との記載があるが、単純に非常放送設備の新設もしくは改修工事を行った実績があるとした方がわかりやすいのではないか。 ・改修する際に、元々の既存メーカーが影響することはないのか。 (5) 鳥取大学（三浦）工学部H棟改修設備設計業務（再公示） ・再公示になった経緯は何か。 ・再公示の時に当初の公示の条件と何か変えたところがありますか。 3.報告.再苦情の申立て状況について ・特になし。	・公共工事の実績が品質確保のために必要であり、このような施工実績を求めている。また消防施設工事から非常放送設備にすると競争参加資格の幅を狭くしてしまうと考えている。 ・絶対できないわけではないが、やはり既設メーカーがかなり影響してくる。 ・期間中に参加表明がなかったためである。 ・条件等は特に変えていない。

4.その他 ・特になし。	
-----------------	--